



1 展示会で見聞広める学生



海外ブースでIT技術について質問する学生達（左側）

最先端のIT技術に接しその動向を学ぶ機会として 6月11日(水)、「InteropTokyo '25」(幕張メッセ)を見学しました。会場には国内外から約500の企業・団体が参加し、最新のインターネットテクノロジー技術が紹介されていました。

スーツ姿の本校の学生らは、企業のデモンストレーションや技術のトレンドを熱心に見学していました。青山さん(水戸三高卒)は「国内の展示会で、外国のIT技術のトレンドに触れられて良かった」と、山中さん(多賀高卒)は「ベトナムのAI技術が進んでいてすごい」と展示会を振り返っていました。

2 高等学校で大学校をPR!



小松副参事と瀧山亜紀支社長

来春開校する「情報テクノロジー大学校」を広く周知するため、県産業戦略部産業人材育成課の小松祥子副参事が高等学校等を訪問しました。

茨城新聞社の瀧山亜紀(筑西支社長兼編集部長兼下妻市局長)さんは「大学校化で、ますます期待が高まりますね」とエールを頂きました。

県立下館工業高校の田中一豪校長は「ITに特化した県立大学校となるので魅力もあり授業料もリーズナブルですね」と話されていました。

外国人生徒も増え、国籍にとらわれない多文化共生へと進む県立結城第一高等学校の長久保静江校長は「外国人も増えており、ITに関心のある生徒も多いと思う」と話されていました。

小松祥子副参事は「水戸から遠い県西地区でも、情報テクノロジー大学校の魅力をアピールできたと思う」と手応えを感じていました。



小松副参事と田中一豪校長(下館工)



長久保静江校長(結城一)と小松副参事

3 『記事トレ』紹介



本校では、IT専門力に加え社会人基礎力の向上のため『記事トレ』を実施しています。新聞を読み、要約とIT技術者としての感想を書くトレーニングを通して読み解く力を育成します。

＜記事トレ＞日経新聞(2025年5月10日)
食事内容、体内時計を意識

●橋本幸明さん(麻生高卒)

◇要約：人間の体には体内時計があり、いつ何を食べるかがパフォーマンスに大きな影響を与える。朝は体内時計のリセット、昼食は午後のパフォーマンス、夕食は体の回復と翌日のパフォーマンスに備える役割があるなど体内時計と密接な関係がある。

◇感想：自分の体調やパフォーマンスを維持することは、社会人として今後働く上でとても重要なことである。

日々の食事内容や、生活習慣を意識し、体調を崩し仕事が疎かになることがないように、気を付けて生きていきたい。

●川尻恭矢さん(土浦三高卒)

◇感想：将来のIT技術者として、これから食生活には注意していきたい。仕事の性質上、外に出ず、画面と向き合い、食事をする時間も惜しいほど忙しい時間もあると思うので、不健康にならないようこの記事を読み出して、食事をとろうと思う。

●間宮一輝さん(水戸南高卒)

◇感想：ITエンジニアは基本的にデスクワークであるが、体を酷使してても健康を気遣うことが少ない。

体を気遣うことで仕事の効率を上げることが出来ると私は考えている。こうした情報は有難く自分でも健康に関する記事を読みたいと思いました。

●横田空良さん(勝田工高卒)

◇感想：体の中の生理機能を調整する体内時計について意識したことがなかったので新しい発見が多かった。これからITエンジニアとして仕事をしていく上で、食事などはパフォーマンスに直接かかわってくと思うので、意識して生活していきたい。

●須藤来全さん(中央高卒)

◇感想：体内時計には、「何を食べるのか」に加え「いつ食べるのか」が大きな影響を与えるということに驚いた。

リセットされる時間は朝でインシュリン感受性が最も高い。こうした値をAIで日常的に知ることが出来れば快適だと思う。

